

《シリーズ・シンポジウム》

日本国憲法の 21 世紀的意義を探る その 7

日本科学者会議 編

『憲法と現実政治』発行後の現実政治

主催：日本科学者会議・憲法問題特別研究委員会

民主党政権となって 1 年半、一方で防衛計画の大綱により日米安保体制の深化が計られ、他方で、後期高齢者医療制度の実質継続にみられるように、社会保障の切り詰めも留まるところをしりません。と同時に、衆議院比例定数 80 削減にみられるように新自由主義政策を速効的に進めるための国家機構改革が急ピッチです。そのようななか改憲勢力の策謀はひとまず頓挫を余儀なくされていますが、予断を許さない動きもみられます。

今回の企画はシリーズ・シンポジウムの総括ですので、ぜひともご参加ください。

日 時： 2011 年 3 月 19 日 (土) 13:30 ~ 17:00

会 場： 明治大学駿河台キャンパス、リバティ・タワー 11 階 1113 番教室

報告者： 唐鎌 直義氏 (元専修大学, 社会保障論)

「現代の貧困問題と社会保障の課題」

明田川 融氏 (法政大学, 日本現代史・沖縄史)

「日米安保体制と沖縄基地問題」

只野 雅人氏 (一橋大学, 憲法)

「民主党政権と国会改革」

参加費： 無料

JSA の会員でなくても、どなたでも参加できます。お問い合わせは下記まで。

日本科学者会議全国事務局

Tel: 03-3812-1472, Fax: 03-3813-2363, E-mail: mail@jsa.gr.jp

明治大学駿河台キャンパス

■ JR 中央線・総武線

東京メトロ丸ノ内線

御茶ノ水駅 下車徒歩 3 分

■ 東京メトロ千代田線

新御茶ノ水駅 下車徒歩 5 分

■ 都営地下鉄三田線・新宿線

東京メトロ半蔵門線

神保町駅 下車徒歩 5 分

